

少しずつ寒さが増し、冬の訪れを感じます。子どもたちも紅葉した落ち葉を集めたり、追いかけてっこをしたりして、秋から冬へ季節の移りかわりを感じながら元気いっぱい体を動かして遊んでいます。

11月21日(月)より、クリスマスを待ち望むアドベントに入りました。少しずつ園内にツリーやリース等の飾りが増えてきて、子どもたちも「もうすぐクリスマスだね」「かわいいね」と友だちと喜び合いながら過ごしています。うさぎ組は初めて、ぞう組やひつじ組と一緒に聖歌隊としてページェント礼拝に参加します。クリスマスのお話を聞いたり、園内の装飾を見たりしながら、クリスマスが近づく喜びを分かち合い、楽しみに過ごしていきたいと思ひます。

アドベントカレンダーのツリー作りでは、好きな素材を使って一人ひとり違うツリーを表現しました。みんなで見せ合いっこをして「このキラキラがすてき!」「きれいだね～」と声を掛け合っていました。また、お家の人へ内緒でプレゼントも作っています。

「(お家の方が)喜ぶかな?」と喜ぶ顔を思い浮かべながら嬉しそうに作っているの、楽しみに待っていてくださいね!



大学の森で遊んでいた時のこと。赤や黄色、緑…等、様々な色の葉っぱを拾い集めて…

Aちゃん「これバナナだよ～」
Bちゃん「この緑のはピーマン!」
Aちゃん「これはお芋で～す」と、葉っぱを様々な食べ物に見立ててままごとをして遊んでいました。それぞれの葉っぱの色を見ながら想像を膨らませて楽しむ姿にとってもほっこりし、成長を感じました。

先月は、縦割り保育やお店屋さんごっこを通して異年齢の友だちとの交流をたくさん経験しました。初めは「小さいクラスの友だちにはビックリしないように優しく声をかける。」「僕たち、もうひつじくみだから、分からないことは教えてあげるよ!」と意気込んでいた子どもたちです。しかし、実際にやり取りが始まると、どのように声をかけたらよいのか、戸惑う姿も見られました。その中で、年長児の姿を見て“こうやって接すればいいのか”と学び、実践してみようとしていたり、相手の様子を見て自分たちで関わり方を考えて声をかけに行く様子も見られるようになりました。このような経験を通して、今では朝・夕の縦割りで過ごす時間にお互いに手を振りながら名前を呼んだり、追いかけてっこやままごとを楽しむ姿も見られるようになりました。異年齢児との関わりを通して、クラスだけでは見られない姿や心の成長を感じることができました。

11月21日(月)よりアドベントに入りました。クリスマスの喜びをお家の方にも伝えようと、内緒でプレゼント作りをしています。一人ひとり、喜ぶ姿を思い浮かべながら心を込めて作っています。楽しみにしててくださいね。また、ひつじ組は聖歌隊としてページェント(降誕劇)に参加し、礼拝を守ります。神さまが私たちのために贈ってくださったイエスさまのお誕生を喜びいっぱい迎えたいと思ひます。



クリスマスプレゼントについて話し合いをしていた時のこと。今年はお家の人の欲しいものや喜ぶものは何かを考えて作ることにしました。その時、Aくんが手を挙げて言った一言です。

Aくん「先生、それだったら僕はプレゼント作らなくていいよ。」

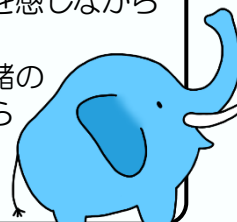
保育者「どうして?」

Aくん「だって、お母さんが一番好きなのは僕だから。もうお家にいるからもうプレゼントはいらないよ。」

Aくんがお家の方から愛されていると感じていることが伝わってくる一言に、心が温くなりました。

11月21日(月)よりアドベントに入りました。「ぞう組ってページェントやるんだよね」「早くやってみたい!」と今年はページェントを通してイエスさまがお生まれになった嬉しいクリスマスの出来事を伝えることに期待を持って過ごしています。どの役にも大切な意味・役割があると知り、みんなで配役を相談して決める時には「今日は『天使』するから、『宿屋』かわってもいいよ」と友だちに譲ってあげたり、「明日は『星』の2番(の役)に挑戦したいんだ!」と前向きに取り組もうとしていたり、意欲的な姿が見られています。ページェント後には具体的なシーンを振り返り、「ここがかっこよかったよ」「セリフの音が大きくてよかったよ」「全員、すてきやった」とお互いに励まし、支え合う姿があり、成長を感じています。一日一日の礼拝の時を大切に守り、イエスさまがともにいてくださる喜びを感じながら過ごしたいと思ひます。

また、クリスマスの喜びをお家の方と分かち合うために内緒のプレゼントも用意しています。お家の方に何をプレゼントしたら喜んでもらえるのかを考え、渡すことを楽しみに進めています。クリスマス礼拝の後の祝会も楽しみにしててくださいね。



万博へ向かうバスの中から太陽の塔が見えてきて喜びいっぱいの子どもたち。久しぶりに太陽の塔を見たAちゃんが…

「え、、何か顔変わってない?」

Bくん「変わってるって何で!?!」

Cくん「変わってないって!あれ上との顔やで」

Aちゃん「あっ、そっか、…。」

Cくんにより、太陽の塔は上にも下にも顔のような建造物であることに気付いた瞬間でした。それから、みんなで口をとがらせて、大好きな太陽の塔の顔真似をして楽しみました。